

# with LIFE



特集

コロナ禍で見直される  
「車」の在り方。

「第2のプライベート空間」で生活を豊かに。

▼ This season's pickup!

運転中の不安要素として声が高まる「視界不良」



ハツラツ営業マンの

## 日々雑感 vol.1

今月は  
「ちよつとオイルな話」



広島を拠点に活動している  
岡本と申します。

5年ほど前にキョクトーに入社しましたが、それまではヘッドライトバルブやワイパー等を販売しているメーカーで営業をしていました。

輸入車への販売も多かったのですが、今でも時々お客様にヘッドライトバルブ適合のご質問を頂いたりします。お困りの際はオイル以外にもぜひお問い合わせください！(笑)

そういった経緯もありキョクトーで働くようになってよくご相談を頂くのが輸入車でのエンジンオイル消費の多い車両への対策です。

原因は様々ですがカーボンの堆積やピストリングの固着などによりオイル上がりが発生している車両が多くみられます。

こういった時には私はNUTECのNC50(10W50)をお勧めしています。

粘度による影響だけではなくNUTEC独自の技術のオイル分子構造が小さいと

いう特性によりシリンダーとピストリングとの密封性が高くなりオイル上がりを抑制します。

さらにオイル分子構造が小さいため10W50という粘度ですが負荷は少なくとても軽く回ります。これがNUTECのエンジンオイルの一番の特徴です。

さらにさらに密封性が高くなったことによりブローバイガスが減少しカーボンの発生を抑えエンジンが良好な状態に保たれます。

いい事だらけですね！

輸入車に限らずオイル消費にお悩みの方はNUTECのNC50をぜひお試しください。

NC-50  
10W50

ストリートから  
レースユースまで  
対応。



オイル消費の悩みもNUTECで解決！

こんな感動したオイルは  
初めて!と思ったオイルが  
NUTECです!



関西を中心に営業活動をして久保です。

新卒で入社した切っ掛け

は、学生時代ハマった車遊びでした。

当時お手軽で楽しかったのがオイル交換。サーキット走行時はAGIPのEUROTECH、街乗り時はDUCKHAMS(ダッカムス)をメインにしながら、色々なオイルを試して、違いを感じていました。

海外製のオイルが高くて一番いいと思っていましたが、24歳でインテグラタイプR(DC2)に乗り換えた頃、NUTECを社内で紹介されました。

サンプルを何気なく使ってみると:「これはすごい!めっちゃエンジン軽く回るのに、トルクもあるし、音も静かになるし:何このオイル?!」

結果、オイルの虜・NUTECの虜となり、NUTEC漬けの営業活動が始まりました。

良い商品を扱えて、自信を持って販売出来て、楽しく営業出来る。

本当に幸せ者ですね。

オイルって何でも一緒でしょ?と思っている人が大半と思いますが少しでもオイルの大切さ・楽しさを知ってもらえれば、と思っています。

この機会に一度お試しください!(/v)/

JAPAN OIL SERVICE 日本オイルサービス株式会社

KYOKUTO 株式会社キョクトー

Head Office 大阪本社

〒581-0026 大阪府八尾市曙町1丁目117番地  
TEL 072-994-5695 FAX 072-993-8837

SAPPORO OFFICE

〒003-0807 北海道札幌市白石区菊水七条2-7-1 SEビル8F

SENDAI OFFICE

〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院1-2-15 ソララプラザ3F

TOKYO BRANCH

〒196-0031 東京都昭島市福島町3-2-20(日本オイルサービス株式会社内)

NAGOYA OFFICE

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-15-33 栄ガスビル13F

HIROSHIMA OFFICE

〒732-0828 広島県広島市南区京橋町1-7 アスティ広島京橋ビルディング2F

FUKUOKA OFFICE

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-4-25アクロスキューブ博多駅前4F



自動車メンテナンスを  
基盤とした様々な  
事業を展開中

キョクトー



## コロナ禍がもたらす カーライフの変化

第二のプライベート空間  
という新たな価値。

業界最新情報

昨年実施された株式会社デルフィス（現トヨタ・コニック・プロ）の「コロナ禍における移動・車に関する意識調査」から窺えたのは、「クルマは移動できる第二のプライベート空間」という新たな価値観でした。この価値観は今年に入ってさらに浸透したのではないかと思われまます。ドライブスルーの需要は増え、車内でテレワークや病院の診察待ち

をしたりする人がいたり、あたかも居住スペースとしての利用が増えているようです。多様な使い方をしている人が増えたことで、車内空間がより快適に過ごせるタイプの車の需要が高まっています。このニーズの顕著な例としてキャンピングカーがあります。一般社団法人日本RV協会のキャンピングカー白書2021によると、2020年のキャンピングカー

保有台数は前年比6・7%増の約12万7400台。キャンピングカーは、移動しながら生活するための設備が整っていて、レジャーとして利用していても災害が発生した際にはシェルターとして活躍できるという防災意識もキャンピングカー人気の一因かと思われます。

先述したデルフィスの調査では「家族の絆を大切にしたい」と思っている人は8割を超えていましたが、一方で「一人の時間を大切にしたい」と考える人も高い割合を占めていました。

これは本来、車が持っている一人や大切な人と安心して移動できる「空間」としての価値観の大切さについて人々が意識し始めたということでしょう。これから車はどこかへ行くための「手段」から、車に乗ることが「目的」になっていくのだと思います。

コロナ禍におけるカーライフの変化で、クルマの需要は増加傾向にあります。ひとりひとりの車に対する「空間」への価値や思いはそれぞれ違うと思いますが、こうした多様なニーズを満たすために車はさらなる進化を遂げてゆくことでしょう。

コロナ禍がもたらした多様性を尊重する時代だからこそ、あらゆる選択肢の中からお客様のライフスタイルに合わせ、お客様にとって何が最適なサービスなのかを見極めるチカラを養っていくことが、私たち業界人には必要なことかも知れません。

Q.新型コロナウイルスの影響により、あなたは今後どのように暮らしたいと思うようになりましたか

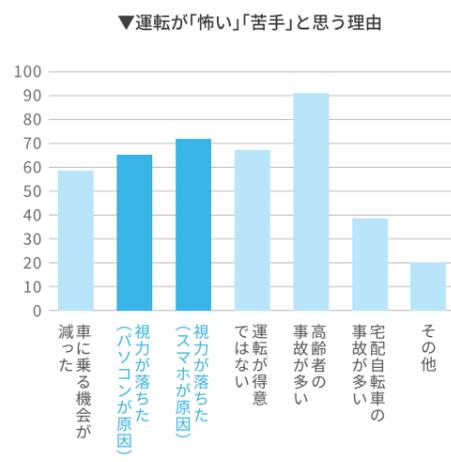
	全体	男性	女性
N =	1,000	500	497
家族や身近な人々との絆を大切にしたい	83%	80%	87%
一人の時間を大切にしたい	75%	74%	76%
日常のストレスを忘れて、非日常的な気持ちになれる時間を作りたい	77%	72%	82%

\*数値：あてはまる+ややあてはまる計 \*【4/28-29調査】(N=1,000)

This season's pickup!

## 運転中の不安要素として 声が高まる「視界不良」

近年のコロナ禍によって私たちの生活習慣や勤務体系も変化し、緊急事態宣言による自宅待機でのパソコン、スマートフォンとの接触時間が増えたことで、視力低下を実感している人が多く見られるそうです。その影響は、運転への「苦手」という意識を高めて不安要素を作る原因のひとつになっています。

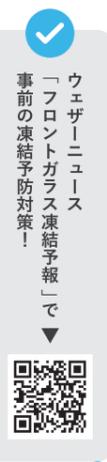


さらに梅雨時期や冬時期のフロントガラスの「視界不良」は、大きな事故を引き起こす要因にもなり、運転中の不安要素として声が高まっています。  
雨天時にはフロントガラスに付着した油膜などで雨粒が乱反射して視界が悪くなり、ヒヤッとしたことがある方も多いことでしょう。

頑固な油膜は洗車しただけでは落ちないことも多く、最近の車に搭載されている衝突被害軽減ブレーキ機能が、油膜のために正常に動作しないケースもあるそうです。雨天時のフロントガラスの視認性を確保するためにも、日頃から撥水処理などのコーティングをして、油膜がつきにくい状態を保つことが肝要です。  
また、寒い冬のシーズンでは、フロントガラスが凍結して困ったという経験のある方も多いと思います。  
そんなフロントガラスの凍結防止に、巷では様々な対処法が存在します。  
新聞紙やバスタオルをフロントガラスにかぶせるのは一般的ですが、新聞紙の代わりに緩衝材のプチプチでも効果があるそうです。見た目を気にする方は専用の凍結防止シートやカバーを購入するのもいいでしょう。  
ただし、「面倒だから」ってフロントガラスの霜に熱湯をかけたり力任せに霜の表面を削るなどはいけません。  
これはフロントガラスを傷つけたりひび割れの原因になる場合があります。  
でも毎晩準備するのは大変だし、いつ凍結するかわからないじゃない、という方には「フロントガラス凍結予報」なんて便利なサイトもあります。



これで予め前日に凍結予防しておけば安心ですね。



撥水加工はフロントガラスの凍結防止にも有効だった?!

でも、もっとスマートな方法があるのをご存知でしたか?

それはなんと「撥水加工」なのです。そうです、実は撥水加工は凍結防止にも効き目があったのです。  
撥水加工は、フロントガラスに油膜が付着するのを防ぐことが目的ですが、油膜を防ぐために水分を弾くという効能が、冬場のフロントガラスの凍結予防にも一役買っていたのです。  
とは言え、視界不良の不安要素を取り除くために一番大切なことは、「心と時間」にゆとりをもって運転する」ということをお忘れなく。



## ATTENTION!

年中使える！  
フロントガラス対策！

さて、それでは撥水加工は冬のフロントガラスの凍結予防に、本当に効果があるのでしょうか？  
まずは次の画像をご覧ください。



※デフロスター使用時間：3分、ワイパー作動回数：3往復、検証条件(気温・天候)：2℃ 曇り 環境温度等によっても効果は変わる可能性があります。

撥水コーティングしているフロントガラスは水分が弾かれて、ガラスの表面に付着する割合が減り、凍結のもとになる物質が少なくなっています。気候条件や環境などによっても違いはありますが、撥水加工をしているフロントガラスはデフロスター数分とワイパーだけで表面の霜を落とすことができたのです。  
快適なドライブのために年中使えるフロントガラス対策として、撥水加工は有効なのです。